R７南信教育事務所だより

教うるは 学ぶの 半ばなり

教学半也

令和７年６月25日
No.５

校内研究に関わる全ての方対象

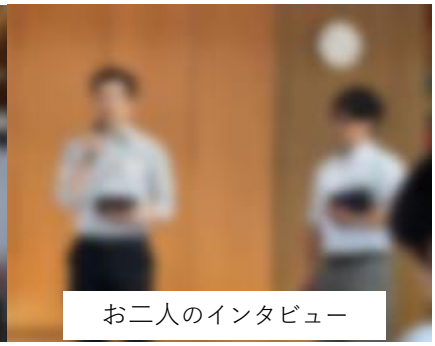
第１回研究主任研修会　令和７年５月２０日開催

～「学校改革」についてトコトン対話しました！～

今年度の校内研究のスタートに合わせ、「校内研究の見通しをもち、研究主任としての役割や心構えを確認したり、研究主任同士がつながりをもったりする」ことをねらいとし、各校の研究主任の先生方が伊那合同庁舎に集まりました。各校の研究主任同士が、対話を通して、今年度の校内研究について考え合いました。

指導主事からの情報提供

研究主任同士の対話


お二人のインタビュー

学校改革の取り組みには、**「子供をまんなか」においた学校・家庭・地域になっていることが必要**だと、改めて感じました。そのためには、目指す子供の姿を、学校や家庭、地域と共有されていなければいけないと思います。まずは、学校の先生方と子供の姿で語り合う場をつくり、目指す子供の姿をはっきりとさせたいです。

目指す子供の姿に近づいていくために、学校が子供にとって学びの楽しさを実感できる場になる必要があると思いました。先生方と子供たちの学びの姿を共有し、どのように環境を整えていけばよいか、ざっくばらんに話し合うことが大切だと感じました。

活発な対話を通して、各校における学校改革の具体的なイメージが少しずつ見えてきた様子が伺えました。お二人の研究主任のインタビューでは、校内の先生方を研究に巻き込み「先生方との対話を深める」ための工夫を紹介していただきました。

参加された先生方からは、研究推進の手ごたえをつかみ、「学校改革に向けて『子供の実態』を把握し、『育成を目指す子供の姿』を全職員で共有するための対話を行うことが必要である」という、対話の必要性についての声が多く聞かれました。

学校改革は、子供たちのために行うものです。先生方と「目指す子供の姿」を語り合い、共有することから、取り組むべき具体策が見えてきます。学校改革に向けた取組を具体化するための先生方との対話を、ぜひ各学校でも行っていただきたいと思います。

【お知らせ】

第２回研究主任研修会　**８月２６日（火）　オンライン開催**

テーマ「全国学力学習状況調査の結果をどのように授業改善に活かしていくか」

※後日、各校に要項を発出いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。